

【施設状況】

グループ名称	若槻公民館								
指定管理者名	若槻地区住民自治協議会「コミュニティわかつき」					法人番号			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副					
構成施設	3377	若槻公民館							
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	会議室(大・中・小) 各1、三登山ホール 1、料理教室 1、図書室 1、体育館 1								
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。								
基本方針等	地方自治法(第244条)教育基本法(第12条)の理念に基づく公の施設であることを念頭において社会教育法(第20条、第22条)に定める事業を、利用者の安全対策を図り、平等、公平な運営に努める。								
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・成人学校の開設 ・各種講座の実施 ・講演会 ・展示会の開催 ・図書等を備えその利用を図る ・貸館事業 								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	若槻地区住民自治協議会「コミュニティわかつき」			指定回数	2 回	
指定期間	平成31年4月1日	～	令和6年3月31日	5年	管理運営開始日	平成28年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					3

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	評価
		利用者数	人	54,313	49,718	32,202	19,168	60%	3
		利用率	%	45.0	44.8	42.4	27.2	64%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項) 【令和2年度】 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、公民館(4月16日～5月15日)は休館とした。開館後も感染対策のため、教室の収容人員を制限したこと、高齢者等が利用を自粛したこと等により利用者が減少した。									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・若槻公民館の利用許可に関する業務 ・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 ・若槻公民館の設備及び維持管理に関する業務 ・教育委員会が定める業務や受講料の収受に関する業務 ・若槻公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務 ・施設、付属品及び物品の維持管理に関する業務							
	自主事業	提案を求めている							
サービス維持・向上の取組み (広報等)		・公民館報 3回/年 発行。ホームページの更新やSNSを活用した情報発信を行い公民館活動の広報に努めた。 ・講座の開催等は、ホームページへの掲載、図書室利用者や支所への来庁者に読んでもらえるような講座のチラシの配置、マスメディア(新聞、市民新聞)を活用するなど新規受講者の増加を図ったほか、広報に努めた。							

3 利用者評価

区分	内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	4
	(2) 調査、会議等の内容	・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握に努めた。 ・貸館利用者へは、利用簿への記載箇所を設けるとともに返却時等に聞き取りを実施した。	
(3) 調査、会議等の結果	実施した一般講座 27講座(50回) 講座参加者数 2,009人 うち アンケート回答者数 174人 満足 151人 86.8% やや満足 23人 13.2%		
利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価	「宮下先生の歴史講座」 信州の鉄道の歴史についての座学講座。信州の歴史を学ぶ上で鉄道は欠かせない。と多くの受講者から好評であった。 「福ちゃんの料理教室」 講師の豊富な知識が人気の講座で、感染対策を徹底し楽しく料理を完成することができ好評であった。 「親子料理教室」 講師に芋井公民館長を招き恵方巻とバレンタインチョコを作った。親や祖父母、兄弟等で協力しながら作る姿が見られた。世代間交流もでき、好評であった。 トイレの洗い場、洗面所の蛇口を人感センサー対応の非接触蛇口に切り替えた。利用者から好評を得た。	4
	(2) 苦情・改善等の要望事項	なし	
	《対応措置》		

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和2年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和2年度決算		令和元年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
	収入	利用料金 2,551,000 指定管理料 13,744,000 委託料 販売収入等 その他収入	利用料金 1,575,612 指定管理料 13,744,000 委託料 販売収入等 その他収入 38	歳入	使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料 貸付料 その他	7,120 44 12,000	歳入	使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料 貸付料 その他	
計	16,295,000	計	15,319,650	計	12,044	計	19,120		
支出	人件費 8,634,453 設備管理費 280,000 備品購入費 150,000 修繕費 150,000 光熱水費 1,660,000 事業費 3,172,629 事務経費 1,149,918 本社経費 その他 1,098,000	人件費 8,151,329 設備管理費 247,016 備品購入費 227,192 修繕費 729,035 光熱水費 1,575,442 事業費 1,980,879 事務経費 2,332,669 本社経費 その他 778,700	歳出	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	13,744,000 44 2,800,000 44 2,800,000 166,100	歳出	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	13,622,000 166,100	
計	16,295,000	計	16,022,262	計	16,544,044	計	16,588,100		
自主事業	収入	収入							
	支出	支出							
	自主事業損益	自主事業損益	0	0					
損益	0	-702,612	差引	-16,532,000		-16,568,980			
人件費比率【人件費(賃金等)／令和2年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								50.9%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績(うち市内雇用職員数) 館長1人(1人)、主事2人(2人)、事務職員1人(1人)	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

6 危機管理体制

※ すべて☑で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

No. 90

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		☑
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		3
	1 住民自治協議会各部会と協力して事業を行い、地域全体との連携を図る。 2 小・中学校・保育園・児童館と連携し、公民館事業を推進する。 3 講座・地元との連携を円滑に行うため、職員は可能な限り地元から採用する。 4 地域公民館の相談に対応し、連携を図る。		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	3	6	
合計得点			

評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者は、19,168人で令和元年度32,202人と比較すると59.5%減少しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による休館と講座等の縮小によるもので、適正に運営されていた。 【利用者評価を4とした理由】 利用者から要望のあった講座を開催し、利用者から好評を得ている。 休館している時期に館内を点検し、水道の蛇口を人感センサー付きの蛇口に変更するなど新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図り、利用者から好評を得ている。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。 ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。 住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。
---------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

・実施した講座等に出席した受講者から任意で提出していただいたアンケートや直接いただいた声を聞き、次回の講座に意見を反映させ、より良い講座を提供することに心がけた。
 ・誰もが安心していつでも利用できる施設づくりを目指し、施設の安全管理の徹底を図った。

② 業務の効率化に対する取組み

・職員数が必要最小限の人数であり、それぞれの業務が常に停滞せず最大の効力を発揮できるよう業務分担の見直しを行い業務の効率化を行った。また、職員に欠員が生じた場合、業務が停滞しないよう業務分担の枠を超えて業務を推進することに着手した。今後順次講座等及び事務全般に着手してゆく予定。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

古い施設のため2階に上がるための階段の蹴上が高く、高齢者には利用しにくい。エレベータも無く、トイレを利用するには1階に降りなければならない。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、高齢者の不用不急の外出が制限されるなか、感染防止対策を徹底しながら講座を開講したが、参加者から人と会うこと、会話することが大切で、「講座に参加してよかった。」「講座を開講してくれてありがとう。」という声を多く聞いた。人と人が交流できる講座を開講する大切さを実感した。感染対策を講じ、人数を制限しながら計画どおり講座を開講した。

② 次年度以降の取組み

・絆をより大きく育てられる講座や学習を積極的に推進し、親子・地域の方が共に、人づくり・絆づくりができるよう学びの場、交流の場として親しみやすく明るい公民館づくりを目指す。
 ・公民館を利用される皆さんが、ともに学び、ともに楽しみ、ともに育み、いつも笑顔で思いやりのある心と豊かな感性を育てる講座や健康学習などを積極的に推進し、世代を超え地域の皆さんが利用しやすい公民館を目指す。
 ・地域と連携し公民館活動の推進を図る。